

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アンダンテ木更津		
○保護者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2025年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年1月21日		～ 2025年1月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月27日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	非常時に対応する訓練や講習を定期的に行い、職員、利用者、保護者との協力体制がとれている。	災害時の避難訓練や引渡訓練の実施、感染症対策に関する講習を行っている。また、外部講師による専門的な内容を学ぶ機会を設けている。	利用者が帰所途中や自宅に一人である時に家族とどこで待ち合わせるのか、無事をどのように知らせるのか、家庭で話し合っている。事業所では引き続き、研修や訓練を通じ、災害時のパニックや感染症の拡大を防ぐ。
2	利用者のことを十分理解し、利用者や保護者のニーズや課題を取り入れた個別支援計画が作成し、支援している。	日頃から利用者を観察し、顕在的なニーズだけでなく、潜在的なニーズを探している。また、家庭での様子、家族との関わりからも必要な支援を考案し、一人ひとりに合った支援を提供している。	保護者からのニーズはモニタリング時だけでなく、定期的な連絡、情報共有の中から探り、支援に取り入れていく。
3	活動プログラムの立案はチームで行い、活動内容が固定化しないようにしている。	利用者に必要な支援は何かを考え、5領域を取り入れた活動を策定している。また、季節の行事や外出イベント、他事業所との交流活動を取り入れ、利用者が様々なことを体験できるようにしている。	利用者や保護者からの希望も取り入れ、楽しく通える事業所運営を目指す。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペース、職員の配置数、バリアフリー化等の支援を行う上での環境が整っていない。	高校生の利用者が多いので、規定は満たしていてもスペースを狭いと感じてしまう。また、階段に手すりがない、廊下に段差があったりと、足が不自由な利用者には生活しにくい。	ビルの所有者との兼ね合いで、リフォームや改築は現実的に厳しい。屋外活動を多く取り入れたり、ビル内の別部屋が使用できる際は小グループに分けたりして支援を行う。
2	地域活動への参画や他のこどもとの交流が少ない。	市のお祭りや出前講座に参加することはあっても、事業者に招待する行事や催しはない。	他事業、他学年交流のイベントを企画したり、地域のお祭りに出店したりと、様々な世代の人と関わる機会をつくる。
3	利用者が安心感を持って、楽しく通える事業所とはいえない。	特定の職員でないと関われない、好きな活動(自分がやりたいこと)でないと気が乗らないといった利用者の様子が伺える。	活動内容によっては好みが分かれることもあり、利用者が楽しめる企画ができるよう、子どもたちからのアンケートを参考にしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 アンダンテ木更津

公表日 年月日

利用児童数 2024年11月1日 22

回収数 21

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	8			交流活動も多く取り入れている為、体育館や公民館、屋外での活動も取り入れていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19	2			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	8	2		ビルのオーナーとの兼ね合いで難しい面もありますが、ポスターによる注意喚起などで安全面を配慮してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	8			活動前は職員が、活動後は生活訓練として子どもたち自身が掃除するようにしています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	1			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	1			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	1			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	1			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	1			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	2			
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	17	4			成美学園の行事や他事業所との交流活動を多く取り入れてまいります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	2			
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	2			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	2			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	19	2			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	2			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	2			
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	3			保護者会等では、職員からの情報提供、子どもの様子の共有だけでなく、保護者同士が意見交換できる時間を設けてまいります。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	3			
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	2			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	1	1	ネットに疎いので、ホームページ等は	ネット環境がない方でも当事業所の様子が分かるように、紙媒体の広報誌を発行しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	1			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	1			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	1			
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	6	1		難しいこともあります。誰にでもヘルプが出せるよう寄り添った支援をしています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	6	1		活動内容によって、好みが分かれることもあると思います。利用者が楽しめる企画ができるよう、子どもたちのアンケートも参考にしています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	4			れば、いつでもお問い合わせください。迅速かつ親身に対応させていただきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		アンダンテ木更津				公表日	年 月 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	3		もう少しスペースがあると、利用者支援がしやすい。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2		職員の数を増やした方が、より丁寧な支援に繋がると考える。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3		1階ではないので、移動が困難。スロープがなく、段差や自販機があり、バリアフリーではない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日の清掃、除菌が行き届いている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		同ビル内の他部屋も借りることができる。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		OJTや活動反省を取り入れて、次に活かしている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		実地指導のみになっており、第三者は入れていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		社内研修が充実しており、積極的に参加している。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	3か月ごとに見直し、必要があれば速やかに修正する。	作成はしているが、公表が遅れた。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		フォーマルされていない部分もある。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3		利用者が通う学校以外との交流は少ない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4		全くないわけではないが、他の子どもと交流する機会が少なかった。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1		家族向けの研修は事業所内で実施しておらず、外部講習の情報提供のみとなった。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6			
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	1		書類関係が机上に置き去りにされていることがある。職員の共有の声が訓練室にも聞けてしまう。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		参加することはあっても、主催者となって招待することはなかった。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6				